

アニマルランド NEWS

わんぱーくこうちアニマルランド
№90 Jan 2018

わん！ぱーく「戌」展開催中！！
葉月ココの出産レポート①
第17回アニマルランドいきもの講座「トキのおはなし」

- 10/8,11/12 裏側探検隊 開催
- 10/8 らんちゅう品評会 開催
- 10/21 ニホンカモシカ 誕生 (1頭)
- 10/22 動物愛護のつとめ 台風により中止
- 11/13 動物慰霊祭 開催
- 11/26 いきもの講座 開催
- 12/6 ジャガー 誕生 (1頭)
- 12/7 ダイサギ 展示開始
- 12/14~2/6 えと展 開催
- 12/16 干支のひきつぎ式 桂浜水族館で開催
- 12/23 クリスマスマつり 開催

10月から12月

動物慰霊祭



動物愛護のつとめが、台風のため中止になりました。動物慰霊祭は後日開催しました。



ニホンカモシカのこども
サチコ

今年2頭目のニホンカモシカが生まれました♪



消防ホースにとまる

ショウジョウトキのために消防ホースをねじねじして止まり木を作ってみました。とまるとユラユラゆれますが、バランスをとって上手にとまっています。

バードハウスにダイサギが仲間入りしました。シラサギと言われる鳥は、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギなどがいます。バードハウスではコサギとともに2種類のシラサギがご覧いただけるようになりました。



ダイサギ



コサギ

のできごと



干支のひきつぎ式 (in 桂浜水族館)

きたる成年はアシカが戌と書いてくれました。去る酉は、わんぱーくからはトビのヒューイが参加しました。



ジャガーの「でも」

待望のジャガー誕生しました♪

今年もサンタさんからお菓子のプレゼントが配られました♪



サンタさんと♪

チョウゲンボウとノウサギの同居生活

“チョウゲンボウがウサギをおそったりしないの？”

これはやさしいお客様から何度か寄せられた質問です。アニマルギャラリー入口前で同居しているキュウシュウノウサギもチョウゲンボウも、もともとは野生保護個体です。2羽とも骨折しており、野生復帰はできないため飼育しています。体にハンデのある2羽にとって、広い場所で体を動かすことは心と体のリハビリになります。

質問の答えですが、“からだの大きさが違うのでおそわない”です。チョウゲンボウの野生下での獲物は、昆虫類やノネズミ、小鳥類というデータがあります。またチョウゲンボウはスペースの上半分を用い昼行性、ノウサギは下半分を用い夜行性(実は夜に動き回っている)で完全に住み分けています。皆様にはこの同居を見守っていただけるとうれしく思います。
(井上春奈)



仲良しに見える？



わん！ぱーく「戌」展 開催中！！



新年あけましておめでとうございます！！2018年がスタートしました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？お正月はのんびりできましたか？

さて、新年といえば何を思い浮かべますか？お年玉、年賀状、おせち、干支・・・そう！干支ですね～(笑)。アニマルランドでは毎年、年末年始恒例イベントとして「えと展」を開催しています。その年の干支に関連した様々な展示をおこなっています。えと展は今年で13回目となり、二回り目に突入しました。2018年は戌年ですね！二回り目一発目は戌年にちなみ【わん！ぱーく「戌」展】と題し、パネルなどを使いイヌに関係したいろいろな展示をおこなっています。今回は現在開催中の【わん！ぱーく「戌」展】について少しだけお話ししたいと思います。

☆野生動物としてのイヌ

みなさん、イヌとって思い出す動物はなんですか？多くの方が一番最初に思い浮かべるものはやはりペットのワンちゃんでしょうか。飼っている方もいらっしゃるかと思いますが、私たちの中で最も身近なイヌですよね。ペットのイヌは人の目的に応じて改良され、今日のように多種多様な姿のイヌが生まれました。現在ではペットというよりも家族に近い存在に変わってきているかもしれませんね。しかし、イヌはイヌでも野生に生息するイヌがいることをご存知でしょうか。

ではここで問題です。『野生に生息するイヌの仲間を2種類あげよ』

みなさん”野生に生息するイヌ”2種類分かりましたか？意外と思いつかばない方も多いのではないのでしょうか。正解例はこの記事の最後に載せますね(^)

現在、世界には30数種類の野生のイヌ科動物がいるといわれています。大きいものから小さいものまで、生息環境に応じて様々な姿、形をしたイヌの仲間がいます。少しではありますが、今回のえと展でも野生に生息するイヌの仲間を簡単に紹介していますのでぜひ見てくださいね！さらに、「じゃあ、ネコ科動物は何がいるの？サルの仲間は？」なんて興味を広げてくれる方がいたらなお嬉しいな～なんて(^)笑



☆タヌキってイヌ！？

ところでみなさん、アニマルランドにいるイヌの仲間の動物はなんでしょうか？わかりますか？正解は・・・「ホンドタヌキ」ですね。来園者の方からは「タヌキってイヌの仲間なの！？」なんていう声も聞こえてきます。実はタヌキもイヌの仲間なんですよ(^)野生のイヌの中では一番身近でなじみのある動物かもしれませんね。現在アニマルランドでは、♂1頭、♀2頭の計3頭のホンドタヌキを飼育しています。正面ゲートに入って真正面の展示場にいます。晴れているときには気持ちよさそうに寝ているかわいらしい姿が見られるかもしれません。今回のえと展ではアニマルランドで唯一飼育をしているイヌ科動物であるタヌキを中心に紹介をしています。タヌキの特徴や習性、タヌキの子どもの写真やタヌキに似ている！？動物との比較など、盛りだくさんの内容となっています。アニメになったり本になったり、日本人に古くからなじみのあるタヌキですが、意外と知らないことも多いですよ。この際、タヌキについてじっくり学んでみるのもいいかもしれませんよ(笑)

☆期間限定「タヌキのはくせいと毛皮にさわってみよう！」

アニマルランドでは、毎週日曜日と祝日の14:30～からワンポイントガイドを実施しています。ワンポイントガイドは毎週異なるタイトルで色々なガイドを行なっていますが、えと展開催中の期間限定で「タヌキのはくせいと毛皮にさわってみよう！」というタイトルでワンポイントガイドを開催する日があります。本物のホンダタヌキの剥製、ホンダタヌキ&エゾタヌキ&ホンダギツネの毛皮に触る体験ができます。普段の生活でタヌキやキツネに触る機会はなかなかないと思います。実際に触られた来園者の方の中には、本州や四国などに住むホンダタヌキと北海道に住むエゾタヌキの毛皮の質感の違いに驚いて感心されている方もいらっしゃいました。実際に触ってみることで初めてわかることもあると思います。貴重な体験ができると思いますので、みなさんぜひ触りに来てください(^)毎週触れる訳ではありませんので、詳細はホームページで確認してくださいね♪

☆担当者から一言

「えと展」は年末から年始にかけて開催され、お正月に重なるということもあるので、あまり堅くなりすぎず、明るく晴れやかで楽しいイメージで作りたいかったということと、なにより子供たちに楽しんで見てもらえるものを作りたいかったので、今回はなるべく文字を少なくし、写真を多く使用しました。また剥製や骨格標本を展示したり、フォトフレームで画像を流したりするなど、子供たちが興味を持って楽しんでくれそうなものを作るように心がけました。動物園に来ることで1人でも多くの子供たちが動物に興味や関心を持ち、動物を好きになってくれたらうれしいですね(^)

【わん！ぱーく「戌」展】は、アニマルギャラリー特別展示場において2017年12月14日(木)～2018年2月6日(火)まで開催中です！みなさんぜひ遊びに来てくださいね～(^0^)/

では最後に問題の正解例です。

『野生に生息するイヌの仲間を2種類あげよ』

正解例『タヌキ、キツネ、オオカミ、ジャッカル、コヨーテ』など(^)

わからない子は動物図鑑を見てみよう！

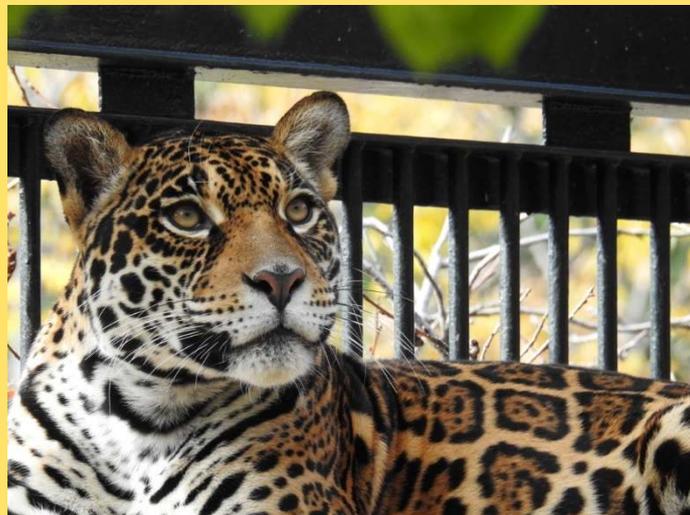
(齋藤 瞬)

剥製、標本、画像等を四国自然史科学研究センターよりお借りいたしました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



壮絶な初産を乗り越えたジャガー

葉月ココの 出産レポート①



ココ母になる

わんぱーくこうちアニマルランドをこよなく愛してくださっている皆様、あけましておめでとうございます。新年ですので、まずはめでたいどうぶつNEWSからお届けしたいと思いますー♪

昨年の2017年12月6日水曜日の出来事です。わんぱーくこうちアニマルランドは休園日でしたが、私たちは早朝よりソワソワしていました。じつはアニマルランドで飼育しているジャガー葉月ココのお産がはじまっていたのです！「どうか神様、無事に赤ちゃんが生まれてきてください。おねがいます☆」当園でのネコ科動物の赤ちゃん誕生は、なんとじつに24年ぶりになります。

私が飼育係になったばかりの1999年4月、担当した動物のなかにジャガーがいました。

これまでお城の動物園・高知市立動物園時代の資料などには過去3度の繁殖があり、かわいいジャガーの赤ちゃんが写っていたのを見た新人の私は、いつかきっと！ぜったいこの手でジャガーの赤ちゃんを！と心に決めたことを憶えています。

あれから18年の月日が流れましたが、いままさに夢が現実となる瞬間はさすがに興奮しました！！録画した映像を見てみると、産室にあらかじめ準備した産箱内のワラをかき出して横たわるココちゃんの様子が！まず午前6時12分すぎ、陣痛がはじまり、出てきたのはなんとかわいい尻尾でした！あ！逆子や！思わず声が出てしまいました。6時17分、なんとかまず第1子が誕生、とても元気に動いています。はじめての出産にもかかわらず、しっかりお母ちゃんしているココの姿は、こじゃんと優美でまた頼もしく見えました。

それからしばらく母子二頭の時間が流れます。そして午前8時25分ごろ、お腹が波打つような映像と何度も体勢を変えては産箱内を動きまわる様子が見られました。陣痛です！しかし、明らかに第一子目とは様子が違うことが見て分かります。しばらくすると、小さな足らしきものが見え、そして尻尾が出ています。第二子もまた逆子だったのです。

8時42分、ようやく誕生した赤ちゃんは死産でしたが、母がやさしく舐めている光景がありました・・・。出産した浪花生まれの葉月ココ3歳。はじめてのお産でしたが、本当によくがんばりました。そして父になったルモ10歳、おめでとう♪
次号につづく（吉川貴臣）



生後2日目



父親のルモ

第17回アニマルランド いきもの講座、 開催しました。 「トキのおはなし」



講師の野田英樹さん

いきもの講座は、動物の研究者や保護活動をしている方、動物園の飼育員や学芸員から、貴重なお話が聞けるイベントです。今回は、いしかわ動物園の飼育員・野田英樹さんをお招きし、日本を代表するいきものひとつ、トキについての楽しくて貴重なお話をしてもらいました。

いしかわ動物園は現在、トキの一般公開をしている唯一の動物園です。『トキの分散飼育と一般公開～舞台裏の苦労話』と題したお話が聞けるとあって、会場は満席！ お茶やコーヒー、ちょっとしたお菓子を食べながら気軽に聞いて学べるということもあり、小学生も9名参加してくれていました。

トキは学名 *Nipponia nippon* (ニッポニアニッポン)、学名からも日本を象徴する鳥ということがわかります。また、切手にも登場するほど身近な鳥です。そんなトキですが、一度は国内からは絶滅したものの、現在は様々な苦労の末、野生復帰した個体が繁殖していることがニュースになったりしています。動物園でもこれまで非公開施設で飼育・繁殖し、それらの個体が野生復帰したりしていました。

ですが、これまでトキを見ることができたのは佐渡島にあるトキの森公園だけ。飼育している動物園も非公開。われわれ飼育員も、見たくてもなかなか見ることのできないいきものだったのです。

そんなトキの飼育園のひとつ、いしかわ動物園で、ついに一般公開がはじまりました！ 高知のみなさんにトキの魅力を知ってもらえるチャンス、なにより、いつかはトキを飼育したいと願っている当園にとっても貴重なお話が聞きたい！ これはぜひ、いきもの講座でお話してもらおうと、飼育担当である野田さんに白羽の矢が立ったのでした。

トキ里山館は2016年11月オープン。館内は柵田を再現していたり、枝に止まって休む姿が目の前に見ることができたりと、トキの魅力余すところなく感じられる施設です。オープンから一年たち、夏には里山館の中に住み着いた多くのいきものでにぎやかで、エサを探す様子なども観察できるようですし、冬には柵田に雪が積もり幻想的です。雪景色の中のトキを見てみたいものの、生まれも育ちも高知県の私からは、寒さを想像するだけで体が震えたのですが、館内通路は暖房が効いているので快適にじっくりと観察できるようですよ！ それを聞いて安心したので、近いうちにいしかわ動物園に足を運んでみたいくなりました。参加してくれたみなさんにも、トキといしかわ動物園の魅力が伝わったのではないのでしょうか。

2018年もいきもの講座は開催予定です。楽しみにしててくださいね！ 参加無料ですよ♪

(山崎由希)



トキ里山館とトキ



あにまるきゃっち★ No.21



トラをご観覧中のご家族をキャッチ☆

左から

いわごえ なほ
岩越 奈保さん

やまと
大和くん(1さい)

ひなた
日葵ちゃん(5さい)

新しい撮影用看板は2018年の干支、戌にちなんだイヌ科のタヌキです。珍しい部分白化個体のぶちぼんと普通タヌキのなつちゃんをモチーフにしています。岩越さんご家族は冬休みに埼玉県から帰省されているそうです。元気な日葵ちゃんは、おしゃまにポーズをとってくれました。大和くんは将来が楽しみな落ち着きぶりでした。お正月も遊びに来てね♪

1月から3月のイベントとお知らせ

開催中 2月6日(火)まで
わんぱく!「戌」展

1月2、3日 13:30～

2月11日(日)、3月18日(日) 14:30～

裏側探検隊 各日先着20名

参加者全員にアニマルランドカードプレゼント♪

1月20日(土)、21日(日)

わんぱくこうち ちびっ子雪まつり

イベント広場でそり遊びや雪遊びができます

雪不足の場合は1月27日(土)、28日(日)に延期

延期日も雪不足のため中止になる場合があります

お問い合わせは公園管理課へ(Tel. 834-1890)

3月24日(土)～4月8日(日)

わんぱくこうちまつり

1万本のチューリップを楽しめます

4月1日(日)は10:00～イベントを開催

日・祝 14:30～

(裏側探検隊のある日曜日は前日の土曜日に変更)

ワンポイントガイド

動物の解説を飼育スタッフがおこないます

1月3日(水)、3月28日(水)、4月4日(水)

※臨時開園

1月11日(木)

※臨時休園

動物たちのエサの時間

キツネザル	毎日 10:00～
リクガメ	毎日 10:30～
チンパンジー	毎日 13:30～
フラミンゴ	毎日 14:00～
メガネカイマン(冬季中止有)	日曜日 15:30～

※ 動物の体調により中止になる場合があります

表紙「ホンドタヌキのぶちぼん」
部分白化個体

2018年1月2日発行

発行・わんぱくこうちアニマルランド

〒780-8010 高知市棧橋通6-9-1

TEL088-832-0189 FAX088-834-0929

Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp

編集 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>

アニマルランドニュース 1, 4, 7, 10月の年4回発行

ホームページでも配信

わんぱくこうちアニマルランド

検索